

# 物質班マニラ調査報告 ( 9/26-9/30 )

文責：石飛智稔

## 参加者：

小野寺真一 ( 広島大学 )

石飛智稔 ( 地球研 )

Fernando Siringan ( University of the Philippines )

Peter Zamoja ( University of the Philippines )

## 目的：

マニラ湾沿岸における陸域から海洋への水・物質  
輸送量評価のための長期モニタリング用機器設置  
観測井への地下水位モニタリング機器設置



図 1 . 観測地点

## 日程：

9/26 : マニラ着

9/27 :

### 1. マニラ湾沿岸 ( Manila Yacht Club敷地内にて ( 図 1 中の水色の丸 ) )

長期モニタリング用機器設置

- A. シーページメータ ( 海底からの地下水湧出量測定機器 )
  - B. ピエゾメータ ( 海底下間隙水の水位 ( 圧力 ) 測定および採水用機器 )
- 周辺海域における海水の水温・電気伝導度鉛直プロファイル測定



図 2 . 観測機器設置地点

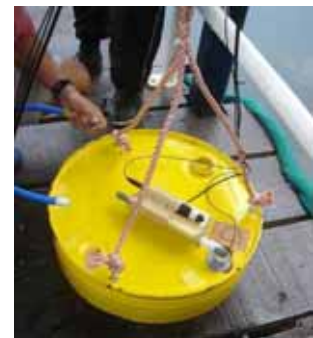


図 3 . シーページメータ



図 4 . ピエゾメータからの採水の様子

## 2. Laguna Lake視察

Manila Bay と Laguna Lake を結ぶ Pasig river の流量や水質モニタリングは行われていない

Laguna Lake の水位はインターネットに公開されている



図 5 .Laguna Lake

9/28 :

### 観測井にて地下水位モニタリング機器設置

マニラの観測井は井戸の蓋部の穴が小さく、現状では機器の設置が不可能な地点が多い

マニラの水管理業者「Manila Water」(民間)に依頼し、今後、蓋部に穴を開け機器設置予定  
現在、1地点のみ地下水位のモニタリングを継続中(図1中の地点1)

今後「Manila Water」においても、地下水位のモニタリングを開始する予定



図 6 . 観測井



図 7 . 水位測定の様子

9/29 1. モニタリング機器動作チェックおよび海底下地下水(ピエゾメータより)+海水の採水

2. Pasig Riverにて採水

9/30 帰国

**今後の予定(現地スタッフに依頼):**

1. マニラ湾沿岸における観測(機器からのデータ回収および採水)を月に2回の頻度にて継続
2. 観測井に水位モニタリング機器を設置(計5地点)
3. 観測井における地下温度鉛直プロファイル測定(観測装置は既に University of the Philippines に送付済み)